

# 令和3年度第3回未来技術実装ミニシンポジウム

(テーマ：ヘルスケア・見守り)

## 議事要旨

日時：令和3年12月16日（木） 13:30～15:00

場所：オンライン開催

### 1. 開会

### 2. 未来技術実装ミニシンポジウム講演

- (1) データヘルス改革で変わるヘルスケアの未来  
厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室
- (2) 健康アプリを活用した、市民の健康づくり活動の促進  
愛知県豊橋市企画部未来創生戦略室
- (3) 「アバター県おおいた」に向けた社会実装の取組  
大分県商工観光労働部先端技術挑戦課
- (4) 富山市スマートシティ推進の取り組み（見守り事業）  
富山県富山市企画管理部情報統計課

### 3. 意見交換（質疑応答含む）

- 「とよはし健康マイレージアプリ」はダウンロード数が1万件を超えたご紹介頂いたが、市民の方々への周知やコミュニケーションをするうえでの工夫があれば伺いたい。
- 「とよはし健康マイレージアプリ」は、年に2回開催される市内のウォーキングイベントにて活用しており、イベントを通じてダウンロード数を上げている。  
ここ1、2年は企業同士や校区同士の歩数対抗チャレンジなど、競争的なイベントを通じて、ダウンロード数を伸ばすことを心がけている。（豊橋市）
- ご紹介頂いたアバターの事例は、学校や家庭での使用例が多かったが、産業分野での実証事例または実装事例はあるか。
- サービス業での実装事例が3件ある。道の駅のつはる、かまえインターパーク、三和酒

類株式会社の蒸留所にてアバターが配置されており、アバターに決済機能を持たせて、直接買い物ができることを目指していると聞いているが、現時点では産業分野での活用事例として、お土産付き施設見学という位置づけで実装されている。

アバターを危険地帯の見回り等に使用できると良いが、当県が把握している限り現時点でどの事業者のアバターも屋外対応をしていない。きつい段差や坂道などへの対応が、現状難しいのが現状である。(大分県)

- 今回子どもたちの登下校の見守りについて重点的にご発表頂いたが、その他にもプラットフォームやセンサーネットワーク等を用いたスマートシティ事業を行っているかと認識している。こういったスマートシティ事業において、企業等に実証実験の場を提供するときに、地元の企業や大学との連携が重要になると考えるが、富山市がイベントや協議会等でどのようにネットワーク作りをしているかお伺いしたい。

また、新型コロナウイルスによるネットワーク作りへの影響や、コロナ渦でのネットワーク作りの工夫をご共有頂きたい。

- 協議会については、スマートシティ推進協議会等で意見を頂く場を設けている。民間事業者にも産業振興のためにセンサーネットワークを使って頂くべく、センサーネットワークを利用した実証実験公募にも取り組んでいる。

また、参加いただいた事業者にネットワーク作りをして頂くため、成果報告会を開催し、名刺交換の機会も設けている。

新型コロナウイルスの影響で令和2年度は対面で集合しての報告会は行えなかったが、YouTube やオンラインでの開催を並行して行っている。さらに、「スケッチラボ」という施設を富山駅近くに設けており、ラボ会員が課題解決のブレインストーミングやアイデアソン等のビジネス交流を行うことができる。(富山市)

- センサーネットワークの取り組みで、登下校以外での活用があれば、項目だけでも良いので教えて頂きたい。

- 民間事業者による実証実験の代表事例は、以下のとおり。

- ・人流の見える化
- ・農業用水路の水位監視デバイスの実証
- ・スマート農業実証実験
- ・地域版の MaaS

また、庁内業務においてもセンサーネットワークを活用しており、令和3年度は以下の7つのIoT関連事業を行っている。(富山市)

- ・スマート農業
- ・スマート水産業
- ・河川水位の監視システム構築
- ・消雪装置の死活監視

- ・市が運営している競輪場周辺の交通量調査
- ・海洋ごみが河川を通じて流れ込まないようにする対策事業
- ・富山駅南北路面電車周辺における賑わい創出の社会実験

○国のデータヘルスの取り組みと各自治体の取り組みはどのように連携するのか。

●例えば民間事業者と連携をしながら個人の健康データ、自治体の健診データ、医療機関の医療データを組み合わせて、個人の健康状況の把握が可能になる。

また、栄養指導の状況や健診結果を組み合わせて、年度を追うごとの健康状況の変化を確認できるようになると考える。さらに、都道府県や市町村で集められた健康データを全国平均と比較し、住民の健康寿命や疾患に関する特徴を捉え、原因や改善方法を導くことができると思う。

そして、県民や市民の健康に関する行動の意識が変わることで健康寿命が延び、介護や医療に係る予算も削減することができるだろう。（厚生労働省）

○全国のデータヘルスに係る事例を確認できるプラットフォームはあるか。

●データヘルス全般に関しては、まだ発展途上のため、プラットフォームは存在していない。一方、予防・健康づくりや介護等に関する事例は、厚生労働省のウェブサイトにて公開している。例えば健康づくりであれば、スマート・ライフ・プロジェクトのホームページ (<https://www.smartlife.mhlw.go.jp/>) などがあるので、ご参考いただきたい。（厚生労働省）

#### 4. 閉会

以 上